

株式会社日本格付研究所（JCR）は、以下のとおり信用格付の結果を公表します。

## 株式会社ジーエス・ユアサ コーポレーション（証券コード:6674）

### 【据置】

長期発行体格付	A-
格付の見通し	安定的
債券格付	A-
国内CP格付	J-1

### ■格付事由

- (1) 04年に旧日本電池と旧ユアサコーポレーションが経営統合し、設立された持株会社。持株会社によるガバナンス状況などからグループの一体性が認められ、格付にはグループ全体の信用力を反映させている。鉛蓄電池では世界2位で国内及びアジアで首位。車載用リチウムイオン電池の生産は子会社のリチウムエナジージャパン（主要納入先は三菱自動車、以下LEJ）とブルーエナジー（同ホンダ、以下BEC）が担う。16年にパナソニックの国内外における鉛蓄電池事業譲受（以下、事業譲受）に関する株式譲渡契約等を締結した。17/3期に国内事業の譲受を完了し、今後中国及びタイの事業譲受を予定している。
- (2) 当面の業績は底堅い展開が想定される。鉛価格上昇による影響を受けているものの、自動車電池（国内）事業における事業譲受や車載用リチウムイオン電池事業の損益黒字化など収益力を強化できている。車載用リチウムイオン電池事業では自動車メーカーによる複数購買など取引関係の変化による影響を懸念してきたが、顧客層が広がりつつあり、LEJやBECの操業度低下に対する懸念は後退している。車載用リチウムイオン電池市場では規模の追求が強まる中、当社では財務規律を重視した設備投資を実行していくとみられ、財務諸指標は安定的に推移していくと見込まれる。以上を勘案し、格付を据え置き、見通しを安定的とした。
- (3) 19/3期営業利益は220億円とほぼ前期並みと予想されている。特殊要因を除けば、産業電池電源事業の価格是正の本格化や自動車電池（海外）事業のアジア販売増加などにより、実質的には増益を確保できると考えられる。財務面では自己資本比率40%台を維持している。19/3期設備投資はアジアでの能力増強などで300億円（前期比約2倍）を計画しているが、キャッシュフロー創出力を踏まえると、財務諸指標に与える影響は限定的とみられる。
- (4) 車載用リチウムイオン電池市場の競争は一段と激しくなりつつある。当社は日系自動車メーカーが拡販に取り組むHV（ハイブリッド自動車）用や欧州で需要が見込まれる始動用リチウムイオン電池など、得意分野を強化している。また、高い技術力や豊富な実績を生かし、産業用の顧客開拓にも注力している。顧客層の拡大と投資の方向性などを引き続きフォローしていく。

（担当）上村 暁生・小野 正志

### ■格付対象

発行体：株式会社ジーエス・ユアサ コーポレーション

### 【据置】

対象	格付	見通し
長期発行体格付	A-	安定的

対象	発行額	発行日	償還期日	利率	格付
第1回無担保社債（特定社債間限定同順位特約付）	100億円	2017年9月13日	2027年9月13日	0.440%	A-

対象	発行限度額	格付
コマーシャルペーパー	300億円	J-1

## 格付提供方針に基づくその他開示事項

1. 信用格付を付与した年月日：2018年7月30日
2. 信用格付の付与について代表して責任を有する者：窪田 幹也  
主任格付アナリスト：上村 暁生
3. 評価の前提・等級基準：  
評価の前提および等級基準は、JCR のホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に「信用格付の種類と記号の定義」(2014年1月6日)として掲載している。
4. 信用格付の付与にかかる方法の概要：  
本件信用格付の付与にかかる方法の概要は、JCR のホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に、「コーポレート等の信用格付方法」(2014年11月7日)、「自動車・自動車部品」(2012年3月26日)、「持株会社の格付方法」(2015年1月26日)、「国内事業法人・純粋持株会社に対する格付けの視点」(2003年7月1日)として掲載している。
5. 格付関係者：  
(発行体・債務者等) 株式会社ジーエス・ユアサ コーポレーション
6. 本件信用格付の前提・意義・限界：  
本件信用格付は、格付対象となる債務について約定通り履行される確実性の程度を等級をもって示すものである。  
本件信用格付は、債務履行の確実性の程度に関しての JCR の現時点での総合的な意見の表明であり、当該確実性の程度を完全に表示しているものではない。また、本件信用格付は、デフォルト率や損失の程度を予想するものではない。本件信用格付の評価の対象には、価格変動リスクや市場流動性リスクなど、債務履行の確実性の程度以外の事項は含まれない。  
本件信用格付は、格付対象の発行体の業績、規制などを含む業界環境などの変化に伴い見直され、変動する。また、本件信用格付の付与にあたり利用した情報は、JCR が格付対象の発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものであるが、当該情報には、人為的、機械的またはその他の理由により誤りが存在する可能性がある。
7. 本件信用格付に利用した主要な情報の概要および提供者：  
  - ・ 格付関係者が提供した監査済財務諸表
  - ・ 格付関係者が提供した業績、経営方針などに関する資料および説明
8. 利用した主要な情報の品質を確保するために講じられた措置の概要：  
JCR は、信用格付の審査の基礎をなす情報の品質確保についての方針を定めている。本件信用格付においては、独立監査人による監査、発行体もしくは中立的な機関による対外公表、または担当格付アナリストによる検証など、当該方針が求める要件を満たした情報を、審査の基礎をなす情報として利用した。
9. JCR に対して直近 1 年以内に講じられた監督上の措置：なし

### ■留意事項

本文書に記載された情報は、JCR が、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCR は、明示的であると黙示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果的正確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCR は、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCR は、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかなるものを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCR の格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCR の格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいて行っており、JCR の格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCR が保有しています。JCR の格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCR に無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

### ■NRSRO 登録状況

JCR は、米国証券取引委員会の定める NRSRO (Nationally Recognized Statistical Rating Organization) の 5 つの信用格付クラスのうち、以下の 4 クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。米国証券取引委員会規則 17g-7(a) 項に基づく開示の対象となる場合、当該開示は JCR のホームページ (<https://www.jcr.co.jp/en/>) に掲載されるニュースリリースに添付しています。

### ■本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL: 03-3544-7013 FAX: 03-3544-7026

**株式会社 日本格付研究所**

Japan Credit Rating Agency, Ltd.  
信用格付業者 金融庁長官(格付)第 1 号

〒104-0061 東京都中央区銀座 5-15-8 時事通信ビル